

- 3月5日 菜の花行動 (13:00マルイ前)
- 3月9日 一斉ターミナル宣伝
- 3月11日 バイバイ原発3・11きょうと (13:30山音楽堂)
- 3月13日 重税反対統一行動
- 3月16日 17春闘統一行動「賃上げの風を吹かそう」大宣伝
- 3月18日 3・18さよなら原発京都北部集会 (13:00舞鶴市総合文化会館)
- 3月19日 戦争法廃止! 街頭演説・デモ (16:00京都市役所前)
- 3月21日 年金よくする会講演会 (18:30ラポール第8)

京都総評

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行

第211号

発行所
 京都市中京区壬生山念町30-2 ラポール京都5階
 京都地方労働組合総評議会 (京都総評)
 電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
 E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
 <発行責任者> 梶川 憲 <編集責任者> 吉岡 勝

京都労働相談センター
 電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

京都総評第83回臨時大会

すべての労働者に大幅賃上げ、人間らしい働き方を！

京都総評は1月29日、第83回臨時大会をラポール京都ホールで開催。役員、代議員、傍聴など150人が参加し、2017年京都国民春闘方針を確立しました。あわせて、春闘アピールを採択し、「賃上げは我々の手で」と一時金闘争にストライキでたたかい要求を勝ち取った経験や公務・民間の労働者の団結の力で前進を勝ち取った公務員賃金闘争などに確信を持ち、「公務・民間・地域が団結して大幅賃上げでフットコをあたため、地域も元気に」と総決起することを呼びかけました。

17春闘本番。全力でたたかきましょう。

大規模賃上げ、安定雇用、均等待遇を実現しよう

主催者あいさつで、梶川憲議長は「だれでも月額2万円以上、時間額150円以上の賃上げを目標に、雇形態を同時に、雇用形態にかかわらず時間額1000円以上の賃金をつくらう」と呼びかけ、来賓の国民春闘共同委員代表委員の小田川義和全労連議長は、「アベノミクスのもとで総下流化が進行している。社会的な賃金闘争と職場でのたたかいを結合させて17春闘をたたかおう」とあいさつ。

池田事務局長が①アベノミクスを要求して賃上げの一大運動を展開、②非正規労働者との対話を重視し均等待遇実現などの要求を重視、③賃上げとまともな労働の合意づくりの共同を広げる、④組織拡大に全力をあげる、⑤安倍内閣をやめさせる大共同を築き上げる、ことを基本とした17春闘方針を提案しました。

要求討議を重視し、ストライキを含む多様な行動

討論では30人(文書発言)が発言。「生活と将来を見据えた要求作りをめざす。生活をシュミレートして議論することが重要」と(JMITU)、「2月27日に府庁を包囲し、京都府に建築労働者の賃上げを訴え

る」(京建労)、「憲法を職場と生活に生かす取り組みを強め、民間との連携を強めていく」(自治労連)、「賃上げは40000円を要求。各組織での本格的な議論が始まったことは貴重。回答指定日の翌日に府庁前行動を計画」(医労連)など、17春闘をたたかう決意が語られました。

組織拡大に全力をあげる決意

組織拡大の課題では、「秋の拡大月間で190人、大に全力。昨年度を大きく上回るペースで加入が進む。組合員が職場の未加入者に声をかける、臨時職員組合員が正規職を組合員に加入させるなどの経験も」(自治労連・府職労連)など、組織拡大の経験と重要

ある大会となりました。

17春闘勝利に向け、活気ある大会となりました。



梶川憲議長あいさつする

拡大し、5500人から5540人に。春闘期も拡大月間を決めてがんばる」(年金者組合)、「秋の拡大月間で718人拡大、年間で3ケタ増勢の可能性も。いっそう奮闘する」(京建労)、「要求実現のたたかいとともに、組織化にも力をいれる」(福祉保育労)、「頼れる組合をめぐり、拡大に全力。昨年度を大きく上回るペースで加入が進む。組合員が職場の未加入者に声をかける、臨時職員組合員が正規職を組合員に加入させるなどの経験も」(自治労連・府職労連)など、組織拡大の経験と重要

地域での多様なたたかいが

地域からは「労働学校を26年ぶりに開校し、26人が受講。連合職場の若い労働者は、職場では理不尽なことがいっぱい。ダメと言えないように学習したい」と語り、福祉職場の労働者は、なぜ格差が広がるのかの議論で目からウロコが落ちたと感想(丹労連)、「原発はいつ重大事故が起こってもおかしくない。再稼働反対の知事宛署名が集まりました」(舞鶴地労協)、「サッカー(舞鶴地労協)、「サッカースタジアム問題は重大局面。取り組みを強化していきたい」(亀岡地労協)などの発言がありました。

外国人は日本人が有給休暇の権利を行使せず流してしまおう。休日出勤して賃金を請求しないよ。春闘の職場討議にでてる不満の常連に「有休が取れない」がある。しかし職場によって取得率に差があり要求への団結が難しいようだ。私の過去の職場ではおせっかいな先輩も多く取得しないと怒られた。一方で「仕事が好き。有休を取らない権利もある」と言う労働者もいる▼悪名高い「残業代ゼロ法案」に混じり「年休取得義務化法案」が国会に提出されている。管理者が部下の有休残数を把握・管理し、年休取得が年間5日未満の労働者を救済する制度である。良い制度であり何なら部下の有休取得率を評価項目に入れても良いのではなからうか。しかし業務量は変わらず残業増加、中間管理職の負担増となるようでは意味がない▼労働組合は縦にも横にも運動を進めていくべきではなからうか。縦には有休取得が可能な業務体制の見直しを会社へ要求。横には組合員に対して「休みたくても休めない仲間を助ける為にも皆で有休を取得して職場風土を変えよう」と呼びかけ、労組役員が率先して有休取得。

(K・N)

京都総評第83回臨時大会

2017年1月29日 ラポール京都ホール

1月29日、ラポール京都ホール



2017春闘 私たちの要求

○だれでも月額20,000円以上、時間額150円以上の賃上げ

○雇用形態にかかわらず、時間額1,000円以上の到達をめざす

- パート・非正規労働者の賃金の大幅引き上げ
- 同一労働同一賃金・均等待遇の実現
- すべての職場で最低賃金協定の締結
- 初任給要求

高卒	170,000円	最低保障
大卒	210,000円	
- 年齢別要求

	獲得目標	最低保障
25歳	245,000円	200,000円
35歳	330,000円	265,000円
45歳	415,000円	320,000円

2017国民春闘アピール

京都総評は、本日、臨時大会を開催し、すべての働く仲間と力を合わせて17国民春闘勝利をめざして総決起することを確約しました。

いまや、労働者の5割以上が、年収300万円未満の「働く貧困層」となり、非正規雇用は2400万人を越え、労働者の4割超を占めるに至りました。このままでは暮らせません。「将来に展望が持てない」と悲鳴があがっています。賃上げが暮らしはもうらん、景気回復の鍵であることは、もはや常識となりました。首相は、財界に4度目となる賃上げ要請を行いました。財界は、「生産性の向上が先」と、正面から応えようとはしません。

また、長時間労働も深刻です。過労死等防止基本法ができたにも関わらず、実効ある対策が取れないため、電通の労働者が若くして過労死に追いやられました。

賃上げ、長時間労働規制は、私たちのたたかいかけています。政府が「賃上げ」と言うのなら、最賃引上げ・中小企業支援こそ、即刻やるべきです。さらに、政府は国民の声を押し返して、「同一労働同一賃金」「長時間労働の規制」を言い始めましたが、それが本気ならば、残業代をゼロにする労働基準法の改悪案を取り下げるべきです。

昨秋以来、年末一時金の闘いでは、「賃上げは我々の手で」と、ストを遂行して要求を勝ち取った組合もありました。公務員給与では、公務・民間の労働者の団結の力で前進を勝ち取りました。今春闘は、これらのたたかいを確信に、公務・民間・地域が団結して「大幅な賃上げで、フットコをあたため、地域も元気にしよう」と、全職の職場と地域から、ベースアップ・大幅賃上げと均等待遇を求めて総決起する正念場の春闘です。

17春闘で私たちは、「だれでも月額2万円以上、時間額150円以上の賃上げ」を要求してたたかいます。

大企業の行き過ぎた貯め込みを労働者にと下請けへ還元させ、すべての労働者にまともな賃金を保障し、安定した雇用と均等待遇の実現を求めます。

「デイ・セントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の実現をめざし、職場から36協定を見直し、労働時間の短縮を勝ち取る」とともに、「残業代ゼロ」「解雇自由」など働くルール破壊を許さず、真の意味での「同一労働同一賃金」「長時間労働の規制」をめざします。すべての争議の勝利解決をめざします。すべての社会保険の連立した改悪を許さず、安全・安心の社会保障を国の責任で保障することを求めます。

府民と力をあわせ、立憲主義をないがしろにする暴走政治と対決し、憲法が生かされ、労働者・国民が豊かに暮らせる日本をめざします。

いまこそ、組織の拡大強化で攻勢的にたたかうことをめざす。総決起することを中心と呼びかけます。

2017年1月29日 京都総評第83回臨時大会

たて直そう 暮らしも地域の経済も！

TUBUYAKI

テロ対策…実は「共謀罪」って?!

「テロ等組織犯罪準備罪」という法案をつくらうとする安倍政権。しかしかに「テロ対策」を装っても、中身は3度廃案になった「共謀罪」です。



「共謀罪」を辞書でひくと「共同で悪事をたくらむこと」。通常、殺人罪なら人を殺した事実、窃盗罪なら盗んだ事実など、実際に犯行が行われたことを対象に処罰されます。しかし、共謀罪は違います。

①実際にやっていないまでも、「たぐらんだ」相談した「だけ」で罪に問う、②2人以上で計画し、だれか一人でも準備・行為をすれば罰する、③600種類もの犯罪で適用するもの。

矛盾だらけの説明

政府の説明はごまかしようか。「一般人には関係ない」と言いますが、いつでも運用と判断で、対象は拡大できる仕組みで、労働

②「国際組織犯罪防止条約」(TOC条約)をオリンピックまでに締結するための法整備と言います。しかし、この条約は、国際的なマフィアなどを取り締まる条約で、新たな法設は不要です。180か国以上が条約を締結していますが、共謀罪を新設させたのは2か国のみです。

戦前の治安維持法にも匹敵する、憲法違反の暗黒の戦争国家への「コメン」です。

京都府内に「賃上げ」の風吹かそう

17春闘のヤマ場



17春闘スタート宣伝

京都総評は、17春闘のヤマ場となる3月に、「京都府内に賃上げの風を吹かそう」と一斉宣伝行動に取り組みます。すべての単産・地域から行動に積極的に参加して、街の雰囲気を変える大宣伝にしましょう。

最寄りの宣伝箇所へ参加を

3月は、17春闘のヤマ場です。大幅賃上げ、労働条件改善、均等待遇実現などの要求を掲げ、職場と地域

で粘り強くたたかいて、要求実現をかちとることが大事です。

大幅賃上げで暮らしも地域も元気に

う労組を互いに支援し、公務・民間一体の春闘をたたかきましょう。

同時に、「すべての労働者の大幅賃上げで暮らしも地域の経済もたて直そう」の世論を大きく広げていく



3月9日(木) 一斉ターミナル宣伝	
北大路	7:45~8:15 賃京都市職労、北上地区労
烏丸今出川	7:45~8:15 賃京都市職労、北上地区労
烏丸御池	7:45~8:15 賃京都市職労、中京地区労
西院	7:45~8:15 賃自治労連、西右京地区労
四条大宮	7:45~8:15 賃自治労連
四条烏丸	7:45~8:15 賃府職労連
烏丸丸太町	7:45~8:15 賃府職労連
近鉄東寺	7:45~8:15 賃府職労連、南地区労、下京地区労
東大手筋	7:45~8:15 賃府職労連、伏見地区労
四条京阪	7:45~8:15 賃京教組、東山地区労
三条京阪	7:45~8:15 賃京教組
神宮丸太町	7:45~8:15 賃京教組、左京地区労
J R宇治	7:45~8:15 賃自治労連(宇治市職)、宇城久地区労
山科柳辻	7:45~8:15 賃京都市職労、山科地区労
J R亀岡	7:45~8:15 賃府職労連、亀岡地労協
J R西大路	7:45~8:15 賃京建労
畑鐵工社前	7:45~ 賃JMITU
J R長岡京	7:45~ 賃乙訓地労協

※各組織から、最寄りの宣伝箇所に参加しよう
※北部・南部の地区労協は、1ヶ所以上の宣伝を実施しよう

三条京阪	17:30~18:00 賃京教組、福保労、自交総連、国大教連
三条河原町	17:30~18:00 賃京都市職労、JMITU、合同繊維、出版労連、年金者組合
四条烏丸	17:30~18:00 賃京建労、京都新聞労組、通信労組、全印総連、国労京滋、京都国公
四条河原町	17:30~18:00 賃医労連、KBS労組、建交労、自立労連、化学一般、自治労連、農協労連
四条寺町	17:30~18:00 賃府職労連、全国一般、郵政U、私教連、全受労
阪急長岡天神	18:30~ 賃乙訓地労協

※各地区労協で、1ヶ所以上の宣伝を実施しよう

3月16日(木) 17春闘統一行動大宣伝 京都府内に「賃上げ」の風を吹かそう

学習会 「働き方改革」の真偽を問う

とき 3月28日(火) 18:30~

ところ ラポール京都第1会議室

講師 森岡孝二さん(関西大学名誉教授)

安倍「働き方改革」の狙いと、真の働き方改革への道筋をお話ししていただきます。

バイバイ原発3・11きょうと

とき 3月11日(土) ところ 円山音楽堂 13:30~

主な内容 長谷川健一さん(福島県飯館村酪農家)スピーチ 鹿島啓一さん(高浜原発差止訴訟弁護士)スピーチ 他 15:00 デモ出発

講演会

とき 3月11日(土) 17:30~

ところ TKP京都四条烏丸カンファレンスセンター

講演 河合弘之さん(脱原発弁護団全国連絡会共同代表)

主催 バイバイ原発きょうと実行委員会

原発ゼロをめざして

3・18さよなら原発京都北部集会in舞鶴

とき 3月18日(土) 13:00~

ところ 舞鶴市総合文化会館

主な内容 「生業を返せ、地域を返せ」福島からの報告 服部浩幸さん(福島県原発訴訟原告団事務局長) 15:00 パレード出発

2月8日

京都市予算要請

京都総評が京都市予算要請を実施。総評役員など14人が参加。労働者・市民の

命と暮らし、雇用と営業、安全・安心の保障を第一にした市政の推進を求め、介護労働者の処遇改善、雇用・経済対策の強化などを要請しました。



2月16日

菜の花行動学習会

青年部・女性部・パートナーが菜の花学習会を行い約60人が参加。講演で



は、安倍内閣の下での格差の拡がりや世界的にも異常な日本の労働実態を紹介。労働運動の発展と労働組合を強く大きくすることの重要性を強調しました。

2月17日

争議支援総行動

不当解雇や不当労働行為などとたたかうすべての争議の勝利解決をめざす争議

支援総行動を約180人の参加で実施。社前宣伝やターミナル宣伝、申入れなどを終日展開。宣伝では争議の当事者が勝利に向けた支援を訴えました。



総評フラッシュ

